

# 行政評価(施策評価シート)

## 1 基本項目

基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策27	都市基盤整備
基本方針	羽村駅西口土地区画整理事業を推進し、快適で潤いのある良好な居住環境の創出と市の玄関口にふさわしい駅前活性化を図ります。また、市街化調整区域である羽字武蔵野等地区について、都市機能の向上と地区内の都市計画施設の充実を図ります。

## 2 指標(長期総合計画目標指標)

指標名		現状		H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	羽村駅西口土地区画整理事業の進捗率(事業費ベース)	5%	(平成22年度)	6%	6%	7%			10%
指標2	富士見霊園内の墓地面積	6,539 m <sup>2</sup>	(平成23年度)	6,539 m <sup>2</sup>	6,964 m <sup>2</sup>	6,964 m <sup>2</sup>			7,000 m <sup>2</sup>

## 3 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成26年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	羽村駅西口土地区画整理事業の推進	297,354,318	98.2%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
2	羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の推進	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	*
3	富士見霊園内墓地の拡張整備	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	*

## 4 施策評価

### ① 施策の評価

羽村駅西口土地区画整理事業は、既成市街地の再編整備であることから、関係権利者等の協力のもと、計画的かつ効率的な施工が必要であり、事業計画上の事業期間並びに事業費と移転実施計画に基づく実行予算との精査・整合が必要となる。現在は、移転工事に向けた関係各機関との調整や権利者調整を進めている状況であるが、移転交渉の難航や関係機関との調整如何が事業進捗を左右することになる。現在の進捗率は、事業費ベースで7%となっている(指標1)。

羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の推進は、基幹事業である土地区画整理事業と各施策との連携推進により相乗効果が表れるものであるため、土地区画整理事業の進展に合わせて、引き続き取り組んでいく。

富士見霊園墓地の拡張整備については、目標の墓地面積をほぼ達成することができた。本年度も区画墓地(1.0m<sup>2</sup>、1.5m<sup>2</sup>)及び合葬式墓地(納骨壇、合葬室)の募集をして、低廉な費用で身近に墓地を持ちたいとする市民ニーズに応えることができた。

### ② 今後の方向性(改善への取組み等)

羽村駅西口土地区画整理事業については、土地区画整理事業の進展を図ることが、早期に基本目標を達成する手段であることから、移転工事等を計画的かつ着実に執行する。

市街化調整区域内にある羽字武蔵野等地区については、市街化区域への編入に向けて課題を整理し、関係機関と協議しながら進めていく。

富士見霊園の整備については、区画墓地に加え、合葬墓地などの要望も増えていることから、今後の市民ニーズを把握しながら対応をしていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市整備部 区画整理管理課・区画整理事業課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	羽村駅西口土地区画整理事業の推進	平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(一部)	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	都市計画課					
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	事業番号	1

2.事業の概要

事業内容	土地区画整理事業により、羽村駅西口地区の市街地整備を推進し、良好な都市環境の創出を図ります。					
根拠法令	土地区画整理法					
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程(条例)					
要綱等						

3.成果指標

成果目標	羽村駅西口地区、面積42.39haの区域に土地区画整理事業を施行し推進する。 JR青梅線羽村駅を中心とした利便性の高い駅前市街地の再編を図るとともに、都市施設と自然が調和した市街地の再生を図る。 平成28年度の羽村駅西口土地区画整理事業の進捗率(事業費ベース)……10%					
------	---	--	--	--	--	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	土地区画整理審議会の運営(委員選挙) 事業計画変更等の手続き 仮換地の指定 工事全体計画・建物等移転計画(基本計画)の策定	土地区画整理審議会の運営 事業計画変更等の手続き 仮換地の指定 移転実施計画の策定	土地区画整理審議会の運営 仮換地の指定 移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	土地区画整理審議会の運営 仮換地の指定 移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	1,883 H	3人	1,883 H	人	H	人	H
主事・主任職	2人	1,883 H	3人	1,883 H	人	H	人	H

②総事業費 ※平成27年度以降の事業費については、事業計画(資金計画)の変更後に示す。

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	415,300	319,300	-	-
人件費(係長職)	19,188	28,302	-	-
人件費(主任・主事職)	13,856	20,489	-	-
総事業費(合計)	448,344	368,091	-	-
国庫支出金	0	3,000	-	-
都支出金	0	0	-	-
受益者負担額	0	0	-	-
その他特定財源	1,063	1,858	-	-
一般会計繰入金	308,237	314,442	-	-
起債	106,000	0	-	-
一般財源(人件費含む)	33,044	48,791	-	-
財源内訳(合計)	448,344	368,091	-	-

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	6,488	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		円

※対象者

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

平成26年12月15日に事業計画(第2回変更)について、東京都知事の認可を受けたことから、12月17日に事業計画(第2回変更)の決定・公告を行った。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	319,300,000	▲ 16,463,000	302,837,000	297,354,318	98.2%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
事業計画変更の手続きに向けた作業を行った。	事業計画の変更を行い、ハード事業へ移行できることとなった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

**Check【評価】**

8.評価

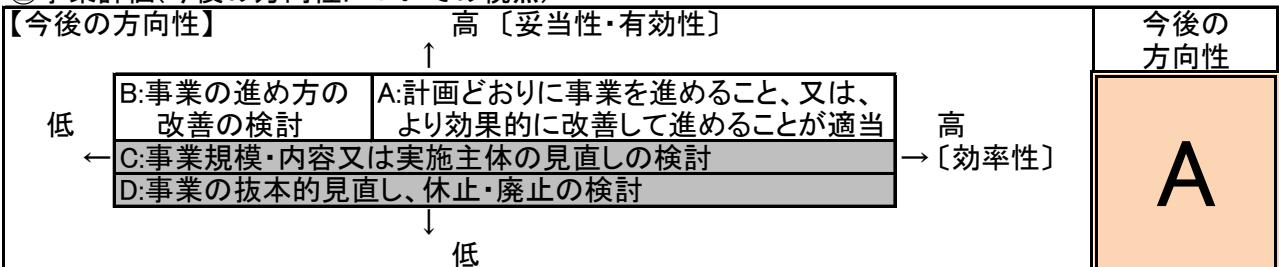
◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○…適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)



③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
変更した事業計画に基づき、区画整理事業を推進していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市整備部 区画整理管理課・区画整理事業課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画の推進	平成 23 年	その他	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	環境保全課					
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	事業番号	2

2.事業の概要

事業内容	羽村駅西口土地区画整理事業の施行にあたっては、先導的都市環境形成計画に基づき、低炭素型のまちづくりを推進します。					
根拠法令						
条例						
要綱等	羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画					

3.成果指標

成果目標	平成23年3月に策定した「羽村駅西口地区先導的都市環境形成計画」に基づき、羽村駅西口地区の地球環境に配慮した快適で住みよい都市づくりの実現を図る。 再生エネルギーの有効活用、環境に配慮した交通手段、緑の保全・育成、環境意識の啓発などの諸施策の推進により、低炭素型社会の実現を目指す。 羽村駅西口地区から排出される二酸化炭素の排出削減目標値……4,048t-CO2/年の削減					
------	--	--	--	--	--	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業の推進 環境に配慮したまちづくり活動の推進	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業の推進 環境に配慮したまちづくり活動の推進	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業の推進 環境に配慮したまちづくり活動の推進	ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証 稲荷緑地再生事業の推進 環境に配慮したまちづくり活動の推進

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H
主事・主任職	1人	24H	1人	24H	1人	24H	1人	24H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	0	0	0	0
人件費(主任・主事職)	89	88	88	88
総事業費(合計)	89	88	88	88
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	89	88	88	88
財源内訳(合計)	89	88	88	88

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	2	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		円
※対象者				

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

ウッドチップ舗装路の管理・効果の検証のための巡回

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
歩道等でのウッドチップの利・活用に関する実証実験の実施	実証実験を継続して行った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

**Check【評価】**

8.評価

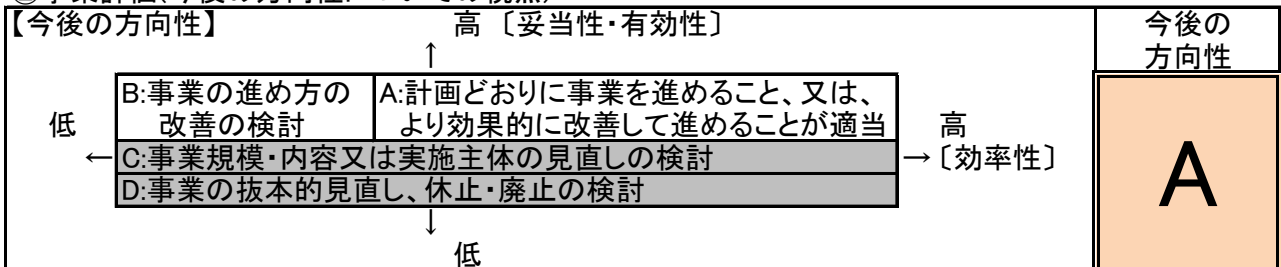
◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○…適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)



③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
区画整理事業を基礎としている計画であり、現在は、区画整理事業が大きく進捗していないため、明確な成果は表れていない。 今後の方向性については、「計画どおりに事業を進めることが適当」と判断している。 今後の区画整理事業の進捗に沿って本事業も進めていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			生活環境課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	富士見霊園内墓地の拡張整備	平成 25 年	期間設定5年	自治事務(市独自)	直営	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	27 都市基盤整備	事業番号	3	

2.事業の概要

事業内容	富士見霊園内に整備した、区画墓地と合葬式墓地の利用者を募集します。
根拠法令	羽村市富士見霊園条例
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	市民に安価で安心して利用できる墓地を提供する。
------	-------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	拡張等整備工事完了 3,193㎡  霊園利用者公募(第1期) 区画墓地 75区画 合葬墓地 27体分	霊園利用者公募(第2期) 区画墓地 61区画 合葬墓地 69体分	霊園利用者公募(第3期) 区画墓地 60区画 合葬墓地 69体分	霊園利用者公募(第4期) 区画墓地 60区画 合葬墓地 69体分

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H	1人	200 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	73,240	0	0	0
人件費(係長職)	204	201	201	201
人件費(主任・主事職)	736	726	726	726
総事業費(合計)	74,180	927	927	927
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	20,840	23,860	23,680	23,680
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	53,340	-22,933	-22,753	-22,753
財源内訳(合計)	74,180	927	927	927

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	16	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		円

※対象者

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

整備した区画墓地(310区画)と、合葬式墓地(納骨壇:1体用134基、2体用168基、合葬室1,400体)の使用者の公募を5ヶ年計画で実施し、今年は第2年度となった。8月に区画墓地1.0㎡…39区画、1.5㎡…26区画、納骨壇 1体用…38体、2体用…44体の内容で公募を実施した。また、8月に公募した残り分を12月に2次募集として実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
区画墓地(1.0㎡)、納骨壇(1体用)において、応募者が募集数を下回った。	公募の資格要件について、市民の要望等を踏まえて、検討し、公募を実施した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

**Check【評価】**

8.評価

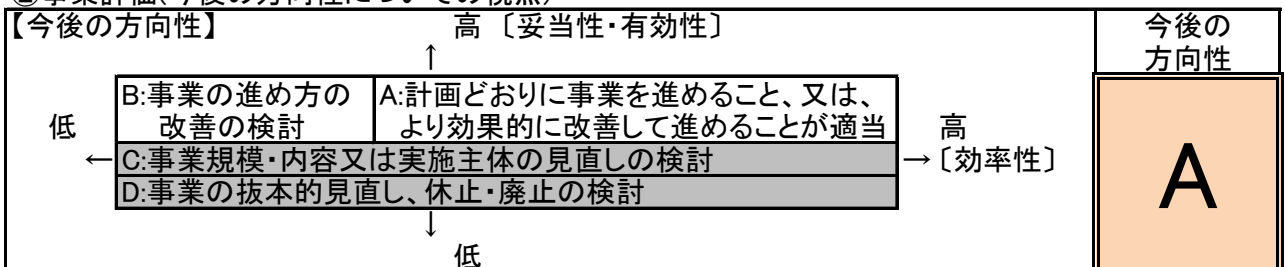
◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○…適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)



③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
お墓に対するニーズが近年大きく変化している中、それらのニーズへの対応についても検討していく。